



発行所  
千葉敬愛高等学校  
同窓会  
千葉県四街道市四街道1522  
☎ 043 (422) 0131

## 同窓会会長を 退任するにあたって

前同窓会会長 櫻井 勇



平成二四年（西暦二〇二二年）七月より令和四年（二〇二二年）六月まで、五期一〇年間つとめさせて頂きました。今般同窓会のお許しを得て退任することになりました。

この間、学校関係者、同窓会事務局、後援会の皆様より、御指導御協力を戴きましたことに、厚く御礼申し上げる次第です。

私は会長に就任した際、卒業時（昭和三四年）と今の母校の規模の大きさの違いに驚きました。生徒数、教職員数の多いことは言うまでもなく、立派な校舎と整った設

備など、数えきれない程です。今の高校生はこんな恵まれた環境で勉強しているのかと、うらやましい気持ちを抱いた程です。

只、ここ二年間は得体の知れぬコロナ禍のため、学校行事、同窓会行事が中止となってしまったことは残念でした。

同窓会会長に就任したことにより、いろいろな体験をさせて頂きました。

私達の時代には、入学式卒業式に父母が参加することはありませんでしたが、今は父母だけでなく祖父母まで参加することには驚きました。教育の重要性の認識、生活の向上、少子化により、子供の将来に対する大きな期待から生じた現象であると思います。

今の子供達は幸せだと思いますが、反面学校や教職員の責任も重くなることも事実であると思います。

また卒業生の代表として、母校の母体である学校法人敬愛学園の評議員として、評議員会に出席する機会を得ました。この会議では幼稚園・高校・短大・大学の今抱えている諸問題や、将来学園が進むべき方針などを聞くことができ

大いに勉強になりました。

ところで、私は同窓会会長に就任した際、あることを実現する決意を述べました。それは年に一度開催される同窓会総会に三桁の参加者を集めるというものでした。しかし残念ながら実現できませんでした。そのみか出席者が増えるどころか、減る始末でした。会場をホテルから学校に変え、酒類の伴う懇親会は別の場所でも志のみの出席者で開催する不便さからだと慰めてくれる方々もおりますが、約三万人卒業生がいる母校です。不便だけで出席者が減少するとは思われません。

## 創立100年に向けて

千葉敬愛高等学校

校長 大森 英一



同窓会の皆様、日頃より本校の発展のため様々なご支援をいただき誠にありがとうございます。まさか新型コロナウイルスとの戦いがこれほど長期化するとは。しかし

会長を退任するにあたり、学校関係者や同窓生、新たな同窓会執行部の皆様様にお願いしたいことがあります。何とか英知を結集して三桁の参加者のある活気に満ちた同窓会総会を実現させて頂きたい。私は今年の七月に満八二歳になります。歩ける限り、同窓会総会に出席する決意です。

退任するにあたり、学校、後援会、同窓会の皆様方の御指導御協力に深謝し併せて千葉敬愛高等学校の飛躍と、後援会、同窓会の活躍を祈念し、退任の挨拶とします。ありがとうございました。

ながら、昨年度はいろいろと工夫をしながら学校行事等を行いました。文化祭や体育祭は一般公開をせず内容を厳選して実施し、修学旅行は行く先をオーストラリアから沖縄に変え、茨城空港からチャーター便を利用するなどして実現できました。卒業式や入学式も生徒と教職員と一部関係者のみ参列いただき、保護者へはオンラインでの配信としました。部活動においても緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が発令される度に、練習日や時間に制限をするなどしなければなりません。そんな中で

も、バトミントン部やテニス部は関東大会へ出場し、テニス部男子はシングルスでインターハイにまで進みました。ソフトボール部も関東大会やインターハイへ出場したほか3月に行われた全国選抜大会でベスト8に入りました。ダンス部においては各種の大会で優秀な成績を残し、マーチングバンド部も全国大会で初の金賞を受賞するなど活躍してくれました。進学の面でも、今春の卒業生はお茶の水大学をはじめとする国公立大学や難関私立大学へ多数の合格を果たしてくれました。中でも早稲田大学には11名の合格者を出すことができました。このように本校生徒たちは、コロナに負けることなく逞しく成長しています。また、昨年度は同窓会より、ストライクやボールなどを表示する液晶カウントボードを野球部に寄贈いただきました。ありがとうございます。残念ながら佐々木朗希のような怪物投手はいませんが、甲子園出場を夢見て頑張ってくれています。引き続き同窓会の皆様からも応援していただければと思います。

さて、話は変わりますが、本校の100周年がいよいよ迫ってきました。2026年に法人設立100周年とあわせて記念式典等を実施する

予定しています。今年度中には同窓会、後援会、PTAの皆様と実行委員会を立ち上げ、寄付金の募集や記念誌、式典のあり方等の検討に入りたいと思います。特に、同窓会の皆様には実行委員会の中核としてお力をお借りすることとなります。80周年を行ったのがこの間なのですが、いつの間にか100周年まであと4年となってしまいました。80周年の際には本校の校舎の建て替えを行いました。法人として、100周年にあわせ大学の一部建て替え工事と短大の穴川への移転をメインに作業を進めています。そうした関係もあり、今回の寄付金の募集については、法人本部が行うものと本校が独自に行うものとの2本立てとなります。式典については、法人と学校が共同で開催をしたいと考えています。やや変則的な形とはなりますが、本校は本校としてしっかりと取り組んでいきます。今年の卒業式では卒業生に向けて、USJや丸亀製麺など、一時低迷していた企業の業績をV字回復させたことで知られるマーケティングの森岡毅氏の「弱みを克服するよりも、強みを行かすことの方が大切だ」という言葉を借り、先ずは自分の強みを見極め、それを生かし、変化の大きいこれ

からの社会で立派に生き抜いてほしいという話をしました。まさにこれからの千葉敬愛高校にも共通すると思います。本校の強みを生かし、100年という長い歴史に因應する立派な学校にしたいと思っております。ご協力よろしくお願ひします。

## 「惜別の辞」

千葉敬愛高等学校

前教頭 大羽 正 人



私、大羽は大学卒業の昭和56年に千葉敬愛高校国語科非常勤講師として採用され、2年後に専任教諭に任用替えいただいてから、実に41年間もの間千葉敬愛学園に奉職させていただいてまいりました。この度一身上の故あつて定年を一年残して退職願いを申し出、受理いただくことになりました。長きに及び同窓会の皆様方にも賜りましたご厚情に心よりお礼申し上げますとともに、ささやかに別れを述べさせていただきます。

思えばこの間多くの先生方や

生徒達に巡り合いながら、ある人からは叱咤激励され、またある時は慰撫されたりで、まことに情感豊かで濃密な時間とともに人生の大半を過ごさせていただきました。教育という生業を通じていろいろな出来事があり、殆ど喜びばかりの多い仕事でしたが辛く悲しい出来事もありました。かつて自分は修学旅行先での大きな事件を通じて二人の生徒を損ねてしまっており、今日までこの昭和63年12月5日の出来事を1日たりとも忘れる事はありませんでした。一人の『神性霊格』に対する責任の重大さを常に背中に背負いながらの35年間ではありました。

国語の授業を通じて教壇で話す時いつも考えていたのは、「人はどうして、何を学ぶべきなのか」という事でした。今でも「人は自由になるために学ぶべきだ」と考えています。人間の生につきまとう孤独と退屈、さらに貧困や病老死などの苦悩や恐怖から自らの魂を解放し、自由に生きるために「自然」と「宗教」と「芸術」と「科学」こそが健全な人類幸福の鍵になっていると思っております。

日本人の幸福を考える時も、これらの「温故」を抜きにするにすることは、いわば土台のない家を建

てるようなもので、そもそも「日本人はどこから来て、どこへ行く」として「歴史や文化を文」を祖先が辿ってきた歴史や文化を文

の要だと考えてきました。自国の文化を愛おしく思う気持ちも育み育てなければ、国家に未来はない事を伝えたかった。日本人は古来、皆小さな村人として素朴に生き、時に家族を貧困や戦乱から守るために武器をとって戦ってきました。国が一つにまとまるまでは同胞同士で血も流しましたが、太平洋戦争にあつては乏しい資源の中、とうとう万世一系の天皇制を祖として、国を守るために複雑な特攻機で自らを犠牲にした若者たちが生きていた事を決して忘れてはいけな

ないと思っています。今日、「SDGs」など持続的な未来に向けた世界理念が説かれる中、破滅的な未来を予見させるプーチンロシアの身勝手な国家主義が台頭してまいりました。ウクライナをナチズムとして自らの侵攻を正当化し、時の流れを巻き戻すがごとく再び世界を戦渦に引き摺り込もうとするプーチンロシアこそが、かつての独裁者のそれそのものに見えるのは私だけでしょうか。占領もできずに軍事侵攻のみ

で飽き足らず、あらゆるインフラ破壊と庶民にまで及ぶ殺戮辱略奪行為を繰り返しており、無秩序で何らの大義も持たない武力を使用するプーチンロシアの破廉恥ぶりが見苦しいばかりです。

教師は人の中に潜む「天命」という可能性を見つけて伸ばす事が使命です。かつて故長戸路信行先生はある年の入学式の祝辞において、「大賀ハス」の種子の発見から現代に蘇り芽吹いて咲いた古代の大輪の蓮の花を引き合いに出されて、一人の「神聖資格」に潜む「天命」の尊崇を説かれました。水を打ったように厳かな静謐の後、来場の保護者の方々から満場総立ちの拍手が巻き起こった事は、今思い起こしても大いなる感動のひと時でした。

世界万民の持続的な幸いのため、あるいはこの国の未来のために同窓生諸君がいかなる「天命」の花を咲かせてくれるのかを楽しみにしています。先ずご家族と隣人を大切にしてお過ごし、ご健勝でお過ごしください。末筆ながら、千葉敬愛学園の弥栄を陰ながらご祈念申し上げます。



# 令和4年卒業生479名が同窓会へ入会



令和4年の卒業生479名を迎える同窓会入会式を、令和4年2月28日に学校体育館で行いました。コロナ禍でもあり、同窓会の岡野事務局長のみが参加し、同窓会の役割やクラス会開催などの補助金についての説明を行い、卒業記念品の贈呈をしました。

また、同窓会クラス幹事を任命するとともに、高木祐希さん、古川喜香さんを同窓会常任理事として任命しました。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとございました。今後、同窓会運営のご協力をお願いいたします。皆様の飛躍とご活躍をご祈念申し上げます。なお、クラス会開催などの時はクラス幹事が中心となってください。

## クラス幹事 (敬称略)

- A組 小塩 温士/林 愛美
- B組 山口 翔大/大野 花純
- C組 高木 祐希/和泉 有紗
- D組 渡邊 優人/滝澤芽璃亜 喜香
- E組 野田 始榮/古川 晃
- F組 小林 翔友/中西
- G組 関口 幸佑/嶋田 理奈
- H組 今西 勝太/山根 桃子
- I組 高梨 大喜/浪川 歌梨
- J組 齋藤 佑真/永野 絢己
- K組 秋本 駿/鈴木 陽奈
- L組 高木 滉/津郷 彩乃

## 令和三年度の優秀な部活動・同好会等に 奨励金を贈呈

同窓会の生徒部活動奨励規定に基づき令和3年度に部活動・同好会等へ、次のとおり奨励金を贈呈しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、同窓会岡野義広事務局長から令和4年2月28日に校長大森英一先生に代表して受領いただきました。今後も生徒の部活動等の増々の活躍を期待しています。

- ① ソフトボール部 第47回関東高等学校男子ソフトボール大会 第3位 3万円
- ② 水泳部 令和3年度千葉県高等学校総合体育大会水泳競技大会水球男子第2位 2万円
- ③ マーチングバンド部 第49回マーチングバンド全国大会 小編隊の部 金賞 10万円
- Japan Cup2021 マーチングバンド・バトントワリング全国大会 高等学校 第4位 5万円
- ④ ダンス部 2021年ダンススタジアム東日本大会ビジュアルクラス 優勝 5万円
- ⑤ 男子バドミントン部 令和3年度千葉県高等学校総合体育大会バドミントン競技 男子学校対抗 第3位 2万円
- 令和3年度千葉県高等学校新人バドミントン大会男子学校対抗 団体 第4位 2万円
- ⑥ 女子バドミントン部 令和3年度千葉県高等学校総合体育大会バドミントン競技女子学校対抗 第2位 2万円
- 令和3年度千葉県高等学校新人バドミントン大会女子学校対抗 第2位 2万円
- 同 女子シングルス(林 咲空さん) 第3位 2万円
- ⑦ 男子硬式テニス部 令和3年度千葉県高等学校総合体育大会テニス大会男子団体 第3位 2万円
- 同 男子シングルス(多田 和起さん) 第4位 2万円
- 令和3年度関東高等学校体育大会千葉県予選会男子団体 第3位



奨励金を贈呈する岡野同窓会事務局長



マーチングバンド部

- ⑧ 女子硬式テニス部 令和3年度千葉県高等学校総合体育大会テニス大会女子団体の部 第3位 2万円
- 令和3年度千葉県高等学校新人体育大会テニス大会 女子団体の部 第4位 2万円
- ⑨ 女子ソフトテニス部 令和3年度関東高等学校体育大会千葉県予選会ソフトテニス大会 女子団体の部 第4位 2万円
- 令和3年度千葉県高等学校新人体育大会ソフトテニス大会 女子団体の部 第3位 2万円
- ⑩ 陸上競技部 令和3年度千葉県高等学校総合大会陸上競技女子棒高跳び(齊藤 阿子さん) 第3位 2万円
- ⑪ 写真部 写真甲子園2021南関東ブロック 奨励賞 1万円(特別)
- ⑫ e-sports同好会 chiba esports League 2021 U-18series Final 準優勝 2万円
- ⑬ 廣瀬 稀美佳さん 読売書法 入選 2万円(特別)以上。

「昭和49年卒の  
3年C組の皆さん、  
先生お元気ですか」

千葉敬愛高等学校同窓会

昭和49年卒業 谷村 茂

私は昭和49年3月に卒業しました。谷村茂と申します。現在66歳、両親の介護をしております。

千葉敬愛高等学校には特別な思いがあります。船橋市立御滝中学校から千葉敬愛高等学校へ入学しました。クラスの担任は、栗原先生です。C組でした。栗原先生はバスケットボール部の監督をされていました。クラスの男子バスケットボール部員のなかで、当時の千葉国体に出場した選手がいます。とにかくスポーツが好きで、人ばかり、楽しいクラスでした。実は卒業式の数日前、体育館の掃除をさぼってしまった事がありました。栗原先生より全員廊下に出ると言われた記憶があります。クラス全員の問題だ、その事が良き思い出となっております。

私は卓球部に入部しました。顧問の先生は青木伸幸先生と網代長利先生です。

卓球部の先輩は、厳しかったです。小川先輩かな？入部した頃は毎日、屋上でダッシュやうさぎ飛びをやらされておりました。玉拾いばかり半年ほど続き、自分が打てるのは練習終了前の10分ぐらいでした。先輩の卒業後は、部員の藤代君、佐藤君、加藤君、飯田君、半田君と良く練習をしました。みんな練習は一生懸命、個性的な選手ばかりでした。試合に出た事も有りましたが、良くて2回戦でした。弱いチームでしたが、何事も続ける事の大切さを教わったと思います。

栗原ルームは就職クラスです。3年生の後半になると就職活動が始まります。私は、手に技術を身に付けたいとの思いが有りました。そのことを就職指導の網代長利先生に相談したところ、明日、石川島播磨重工業㈱へ行き見学してこいと言われました。とんとん拍子に内定まで決まり、入社する事になりました。入社した49年は、オイルショックになった時代です。造船不況となり、会社より希望退職制度の運用と転職のあっせんが始まりました。私は入社したばかり、会社をやめたいと思いませんでした。

造船会社でしたが、入社当時は大型冷凍機の圧縮機の組立を行ってました。自力で電気工事士と冷凍機の運転資格を取得し、社内の電気班で冷凍機の運転業務に就く事が出来ました。豊洲の工場から横浜工場へ移転があり、その後は関係会社へ出向となりました。大型機械の整備工事や機械据付工事、現地の工事監督を経験しました。

就職指導の網代先生より勧められた会社で43年間、勤める事が出来ました。真に有難う御座いました。今思うと敬愛高校で生き方を教わったと思います。つらい時も、乗り越える事が出来ました。昭和49年卒の3年C組の皆さん、先生お元気ですか、卓球の皆さんもお元気ですか。

令和四年度 事業計画 (案)

令和4年度の同窓会事業計画(案)として、常任理事会及び総会に提案します。

- 一. 会報「敬愛」第45号を発行する。
- 二. 同窓会総会を7月2日(土)に学校で開催する。
- 三. 常任理事会を開催する。
- 四. 事務局会議を必要に応じ開催し、会員情報の収集・連絡、会運営のための計画・検討、会報の編集を実施する。
- 五. 組織委員会・財政委員会を必要に応じ開催し、会の活性化を図る。
- 六. クラス会、同期会等開催への援助をする。
- 七. 学校の生徒部活動等への支援を行う。
- 八. 千葉敬愛高等学校後援会の事業を支援する。
- 九. 千葉敬愛高等学校関係団体(同窓会・PTA・学校後援会)役員の新年会に参加する。
- 十. 2月に本年度卒業生の同窓会入会式を挙げる。席上卒業記念品を贈呈し、常任理事及びクラス幹事を任命する。
- 十一. その他、同窓会発展のための活動を行う。

## 私の思い出を語る

昭和28年卒業(千葉関東高等学校)

弁護士 黒川厚雄



私、黒川厚雄は、千葉市とは云えども片田舎で、8人兄弟の4男として昭和9年に生まれた。昭和初期は、父方の兄弟間で北の鳥島(これは八丈島にある周囲4キロの火山島で、アホウ鳥の繁殖地で有名である。それにかつてはジョン万次郎が四国から漂流してたどり着いた無人島である)を買い入れたが、これが詐欺事件であったとして、黒川家では連帯保証人となっていたことから、借金取りの取立てにあう等、貧乏時代であったようだ。母によると、借金取りは一晩自宅に泊まって、白米を食べさせて帰って行ったとのことである。

私が5才の頃流行病のポリオ(小児麻痺)に感染し、右手が麻痺して動かなくなってしまう。これが

私にとって不幸な出来事となり、人生を左右したのではないかと思っている。父は「厚雄は手が悪いのだから、職業は郵便配達人にしよう」と思っていたようだ。日常生活において不便を感じていたし、村の人たちや子供たちにいじめられ、劣等感に苛まれて人前には出たくないと考えていたところもあったが、私の性格が生来楽天的であったのか、今で云う引きこもりにはならなかった。

小学校5年生の昭和20年8月、第二次世界大戦で日本国は敗戦し、田舎であつても食糧難で、家族一同大変な思いをした記憶が鮮明に残っている。空襲の経験もあり、防空壕を作ったこともあった。戦後まもなく、引き揚げ者の中で友達も出来た。その友達が「三国志を読んで面白かった」と云っていたことに驚かされ、小学校6年生でも本屋に行ったこともなく、ただ学校の教科書しか読んでいなかった田舎者の私にとって、鮮烈なカルチャーショックを受けたのである。

昭和28年4月、貧乏であつたが千葉敬愛高等学校(旧千葉関東高等学校)卒業後、中央大学へ進学卒業できたのは大変幸せであつた。だが、大学を卒業したとは云えハンディキャップがあることで、なかなか就職先が見つからなかった。その後、幸いにも先輩の紹介で興行界に

就職することが出来た。その時、映画館前でいわゆる「大声での呼び込み」をしたが、これが自分にとって良い体験になり、何か自信がついたような気になっていたのだが、当時の私は将来に不安を感じていた。

突然、私に幸運が訪れた。ある日、池袋の街中を歩いていた時、偶然友人に会い「黒川、俺は司法試験に合格したぞ。お前は今何をやっているんだ。司法試験を受けてみるよ」と言われ、別れた。これに刺激され、昭和36年3月に会社を辞め、3年間を別途として、兄に月1万円を支援してもらい、下宿して独りで夢中になって司法試験の勉強をした甲斐もあり、昭和39年10月に司法試験に合格した。受験勉強中に指導を受けた先輩越山康氏(故人)と知り合うことが、これまた全くの幸運であつた。それは、昭和51年5月に、衆議院議員定数配分規定違反(一票の重さ)判決の上告人(選定当事者)になったことである。」これは今でも有名な違憲大法廷判決となっており、民主国家の図書館には、この上告人黒川厚雄の名前が、英文判決書で残っている。これも出会った先輩の指導の賜物であり、「足を向けて寝られない人」となっている。

それに増して更に幸運であつたことは、50年間連れ添った妻との

めぐり逢いである。それは、私が試験勉強中にアルバイトで勤めていた洋服販売会社で妻と知り合ったことだ。それも、私が司法試験に合格したのでアルバイト先の上司に挨拶をしようとして電話したところ、その電話に偶然にも妻が出た。話をしていくうちに、実は本日をもって会社を辞めるということであつた。知り合った時から、ちよつと美人なので、これからも付き合ってもよいかと少々関心を抱いていたので、電話番号を聞き、その後交際を重ねて結婚することになった。これも全くの偶然の再会で、もしあの日に電話をしなかったら、もしあの時の電話で他の人が出ていたら、全くの他人で終わっていたのかもしれない。結婚不思議な縁というほかない。結婚50年目の2日後に妻は急死している。これも偶然なのか。

現在弁護士生活55年目を迎えて、つくづく感謝することは、本当に私の人生において、偶然にも、否、本来は必然であつたかもしれないが、人との出会い、めぐり逢いにより助けられたこと。出会いの幸運こそ私を支え、生かしてくれたのだと毎日感謝の気持ちで生きている。ただ残念なのは、幸運を呼んでくれた各人に対し、恩返しが出来ないことが悔やまれる。最後に、この文章を長年連れ添った妻に贈る。

# 千葉敬愛高等学校を卒業早六十年を過ぎ、今のコロナ禍の中で母校を思う。

千葉敬愛高等学校同窓会 副会長  
昭和36年卒業 村山 勝己



想像もしなかった「コロナ禍」に今や日本のみならず世界中が掻き乱されています。今の状況を誰が予測したでしょうか。

一寸先は闇と申しますが、正に今、実感しております。しかし、どのような苦渋であれ人間は、又、企業、社会は生き続けなければなりません。コロナを恐れ立ち止まっている社会であつてはならないと考えます。

さて、私の興した株式会社崑崙印刷は、昭和51年創立、今年で45年になりました。これを期に令和3年1月18日を以て代表取締役社長を退任し、後任として娘婿に委

ねる事となりました。印刷業界も世情と共に変革著しくデジタル化社会をどう生き抜くか大きな大きな課題を押し付けられています。

次の世代を担う人たちの力を信じ、又私達先人も陰ながらその歩みを見守る責務があると考えます。

どのような時代になつても確信して言えることは、行き着くところは人間と人間との繋がりであると思ひます。どの様な優れた機械が現れても、勝する処は人間同士の信頼関係と知恵と心であると私は常に思つております。

人間同士の心のつながりは何十年、何百年先に至つてもこれに勝るものはないと確信しております。

一社、一社が個人、個人が人を信じ社会を信じ一歩でも二歩でも前進することが個人の幸せにつながると考えています。

会社創業以来、思い返せば、晴れの日は少なく、雨の日、嵐の日、荒れ狂う海原に立たされたこともあります。しかし、荒れ狂う海に舟を出し向こう岸まで渡してくれた人もおりました。晴れの日は一緒に青空を仰いでくれた人。雨の日は共に傘を差してくれた人。その一人一人から、勇気と前に進むことを教えて頂いたのであります。

また会社を育てて頂いたという思いが、常に心の奥底にあり感謝の気持ちとともに今日にございます。変革の激しい時代だからこそ、人間同士の絆に勝る財産はなからうと言ふことが私の信条でもあります。

す。しかし、自分自身の信条を信じ、明けな夜はない、終わりのないトネルはないと。コロナ禍の後にどのような社会が待っているかわかりませんが、今、この時代を我慢、忍耐の試練と思ひ今のこの経験が大きな肥やしとなることを、明日と言う日を信じて笑つて逢える日が来ることを願ひましよう

## 同窓会のあゆみ

### 令和3年

5月26日(水) 事務局会議。常任理事会書面開催、総会中止等について協議。

6月1日付けで同窓会報「敬愛」第44号を発行。

6月下旬 令和3年度常任理事会を書面開催。

7月 新型コロナウイルス感染症を考慮し、総会を中止。

### 令和4年

1月8日(土) 事務局会議を開催。新年会、令和3年度事業計画等について協議。

1月22日(土) 新型コロナウイルス感染者数の増加のため、千葉敬愛高等学校関係三団体新年会を中止。

2月28日(月) 令和3年度卒業生の同窓会入会式を開催、479名に記念品を贈る。

2月28日(月) 千葉敬愛高等学校にて生徒部活動奨励規定に基づき令和3年度に優秀な成績を修めた部クラブ及び個人に奨励金を贈呈する。

3月 野球部にカウント表示機を寄贈する。

4月25日(月) 事務局会議開催。会報第45号編集、常任理事会・総会について協議。

令和4年度 千葉敬愛高等学校同窓会

# 総会のご案内



- **日時：令和4年7月2日(土)**  
午後3時から **総会I部** (事業報告・決算報告、事業計画・予算案、他)  
午後4時頃から **総会II部** (会長・来賓あいさつ、お笑いライブ「カミナリ」)
- **会場：千葉敬愛高等学校 TEL 043-422-0131**

■総会II部には、  
 学園長 **長戸 政行先生**      理事長 **三幣 利夫先生**  
 校長 **大森 英一先生**      教頭 **吉田 郁司先生**  
 教頭 **神原 広治先生**      総務部長 **平山 哲也先生**

他先生方  
をご招待して  
おります。



※なお、この総会のご案内をもって総会のお知らせとします。出席される方は、同封の返信はがきに必要事項をご記入の上、ご投函ください。総会II部には、同窓生でないご家族(返信はがきにお名前をご記入ください)もご一緒にご参加ください。また、住所変更等のある方は必要事項をご記入の上、返信をお願いします。

※新型コロナウイルス感染症の状況等により、内容変更及び中止となる場合があります。

## お笑いライブ「カミナリ」開催

2016年・2017年M-1グランプリ決勝進出。茨城県出身の竹内まなぶさんと石田たくみさんのコンビ、どつきツッコミ漫才の「カミナリ」が、千葉敬愛高等学校にやってきます。同窓生とお楽しみください。皆様のご参加をお待ちしています。

## 先生方の異動

退職

教頭 **大羽 正人先生**  
(依願退職)

教諭 **鈴木 宏和先生**  
(定年退職)

教諭 **加藤 準一先生**  
(定年退職)

転入

教諭 **新町 憲史先生**  
(敬愛学園高校より)

昇格

教頭 **神原 広治先生**  
事務主幹 **伊藤 裕一さん**

任用替え

(期限付きから専任)

教諭 **荒川 雅史先生**

教諭 **金杉 元樹先生**  
(数学)

(数学)

## 編集後記

令和3年度も昨年度からの新型コロナウイルスに怯えながら暮らす日々となりました。ワクチン接種は3回目を終えた人もいますが、若い人は3回目の接種をためらう人がいて、接種率が低いようです。世界的にもワクチンの有効性は高いといわれますので、ぜひ、3回目、機会があれば4回目と自分及び家族のためにも積極的な接種を考えて欲しいと思います。また、コロナ禍のなか昨年1年遅れで開催された東京オリンピック・パラリンピック2020は無事終了しました。無観客という初めての大会になり、インバウンドのオリンピック景気などの経済的効果はほとんどなくなりましたが、スポーツの祭典・平和の象徴であるオリンピックを開催した意義はあったと信じています。

しかし、北京2022冬季オリンピック終了を待っていたように始まった、ロシアのウクライナ侵攻、どんなことがあろうが、罪なき人々を殺す侵攻は、許すことはできません。早く平和な日々が戻ることを望みます。

最後に、同窓会へご要望ご意見がありましたら、お寄せください。同窓会発展のための参考とさせていただきます。

同窓会事務局長 **岡野 義広**



〒284-0005 四街道市四街道一五二二  
 千葉敬愛高等学校内 同窓会事務局  
 TEL 043-422-1011  
 FAX 043-422-1586  
 URL <https://chibaki.net/>  
 E-mail [chibakeitai@chibaki.net](mailto:chibakeitai@chibaki.net)